

1986 年

和漢診療部

Department of Japanese Oriental Medicine

助教授	寺澤捷年	Katsutoshi Terasawa
助手	土佐寛順	Hiroyori Tosa
助手	檜山幸孝	Yukitaka Hiyama
文部技官	鳥居塚和生	Kazuo Toriizuka

◆ 著 書

- 1) 寺澤捷年：東洋医学からみたストレス。東洋医学的なストレスケア。ストレスの科学と健康，河野友信，他編，19-22，250-258，朝倉書店，1986。
- 2) 寺澤捷年：神経・筋疾患の漢方治療総論。漢方保険診療指針，日本東洋医学会漢方保険診療指針編集委員会編，191-194，日本東洋医学会，1986。

◆ 原 著

- 1) ☆Terasawa K., Bandou M., Tosa H., Hirate J.: Disposition of glycyrrhetic acid and its glycosides in healthy subjects and patients with pseudoaldosteronism. *J. Pharmacobio-Dyn.*, 9: 95-100, 1986.
- 2) ☆Terasawa K., Bandou M., Tosa H., Toriizuka K., Hirate J.: Disposition of glycyrrhetic acid after oral administration of Kanzo-to and Syakuyaku-kanzo-to in the rat. *J. Med. Pharm. Soc. WAKAN-YAKU*, 3: 105-110, 1986.
- 3) ☆Terasawa K., Toriizuka K., Tosa H., Ueno M., Hayashi T., Shimizu M.: Rheological studies on "oketsu" syndrome I: the blood viscosity and diagnostic criteria. *J. Med. Pharm. Soc. WAKAN-YAKU*, 3: 98-104, 1986.
- 4) ☆Watanabe H., Hiyama Y., Suda H., Sekihara S., Terasawa K.: Functional compensation by transplantation of cell suspensions of embryonic mesencephalon into the striatum of rats with 6-hydroxydopamine lesions. *Jpn. J. Pharmacol.*, 40: 591-593, 1986.
- 5) ☆Tokunaga A., Otani K., Sugita S., Terasawa K.: Quantitative analysis of the superior colliculus and the parabigeminal nucleus in the hereditary unilaterally microphthalmic rat. *Okajimas Folia Anatomica Japonica*, 62: 365-384, 1986.
- 6) ☆Kawashiri N., Toriizuka K., Adachi I., Ueno M., Terasawa K., Horikoshi I.: Effects of traditional crude drugs on fibrinolysis by plasmin: antiplasmin principles in eupolyphaga. *Chem. Pharm. Bull.*, 34: 2512-2517, 1986.
- 7) ☆Toriizuka K., Nishiyama P., Adachi I., Kawashiri N., Ueno M., Terasawa K., Horikoshi I.: Isolation of a platelet aggregation inhibitor from angelicase radix. *Chem. Pharm. Bull.*, 34: 5011-5015, 1986.

1986 年

- 8) ☆寺澤捷年, 土佐寛順, 檜山幸孝, 今田屋章: 小続命湯に関する一考察 (I). 日本東洋医学雑誌, 36: 233-238, 1986.
- 9) ☆寺澤捷年, 土佐寛順, 檜山幸孝, 今田屋章: 小続命湯に関する一考察 (II). 日本東洋医学雑誌, 37: 1-8, 1986.
- 10) ☆檜山幸孝, 寺澤捷年, 土佐寛順: 漢方治療が奏効した非定型顔面痛の 5 症例. 日本東洋医学雑誌, 37:123-129, 1986.
- 11) ☆馬永華, 垣内信子, 服部征雄, 寺澤捷年, 平手純司, 加藤義輝, 堀越 勇, 深作昇, 難波恒雄: 厚朴成分 magnolol の代謝研究 III. [ring-¹⁴C] magnolol 投与ラットの全身オートラジオグラフィートについて. 和漢医薬学雑誌, 3: 129-135, 1986.
- 12) ☆土佐寛順, 寺澤捷年, 今田屋章: 心下痞鞭とその関連症状に関する研究. 日本東洋医学雑誌, 36: 159-164, 1986.
- 13) 中川輝昭, 安田晶子, 鳥居塚和生, 足立伊佐雄, 上野雅晴, 堀越 勇: Thromboelastgraph を利用した Urokinase の定量および溶解後の安定性. 病院薬学, 12: 369-372, 1986.

◆ 症例報告

- 1) ☆Terasawa K., Tosa H., Imadaya A., Wakaki K., Koizumi F.: An autopsy case of rheumatoid arthritis with scirrhous infiltration of gastric carcinoma in the synovial tissue. Jpn. J. Rheumatol., 1: 99-104, 1986.
- 2) ☆Terasawa K., Shimada Y., Imadaya A., Toriizuka K., Ochi K.: A case of dermatomyositis with manifestation of Ig-binding macro-CPK. Jpn. J. Rheumatol., 1: 53-59, 1986.

◆ 総 説

- 1) 寺澤捷年: 瘀血症の現代科学的研究. Pharma Medica 新春増刊号, 4: 45-52, 1986.

◆ 学会報告

- 1) Terasawa K.: Scientific approach to the concept “Sho” (Zeng 證) in traditional Chinese medicine. The Joint Conference of The 2nd World Congress of Chinese Medicine and The 2nd International Symposium on Acupuncture and Moxibustion, 1986, 5, Taipei.
- 2) Terasawa K.: The present situation of education and research work of traditional Chinese medicine in Japan. International Symposium on Integration of Traditional and Modern Medicine, 1986, 5, Taichun.
- 3) Terasawa K.: Clinical research on traditional medicine in Japan. W.H.O. Scientific Group on Herbal Medicine Research, 1986, 11, Manila.
- 4) 三瀨忠道, 横澤隆子, 鈴木奈緒美, 寺澤捷年, 大浦彦吉: 慢性腎不全に対する中国産大黃の治療経験. 第 23 回日本臨床代謝学会総会, 1986, 2, 福岡.

1986年

- 5) 難波恒雄, 服部征雄, 垣内信子, 馬永華, 寺澤捷年, 堀越 勇, 平手純司, 加藤義輝: 厚朴成分 Magnolol のラット臓器における分布と代謝. 日本薬学会第 106 年会, 1986, 4, 千葉.
- 6) 川尻憲行, 鳥居塚和生, 足立伊佐雄, 上野雅晴, 堀越 勇, 寺澤捷年: 駆瘀血生薬の研究. 線溶, 凝固系に対する虫の作用. 日本薬学会第 106 年会, 1986, 4, 千葉.
- 7) 三瀦忠道, 土佐寛順, 寺澤捷年: 慢性腎不全の和漢薬治療. 大黄について. 第 37 回日本東洋医学会学術総会, 1986, 5, 広島.
- 8) 伊藤 隆, 土佐寛順, 三瀦忠道, 寺澤捷年: 赤丸料の適応病態に関する一考察. 第 37 回日本東洋医学会学術総会, 1986, 5, 広島.
- 9) 土佐寛順, 嶋田 豊, 城石平一, 寺澤捷年: 奔豚気病に対する一考察. 第 37 回日本東洋医学会学術総会, 1986, 5, 広島.
- 10) 檜山幸孝, 寺澤捷年, 城石平一, 嶋田 豊, 松田治己: 非定型顔面痛に対する和漢治療の試み. 第 37 回日本東洋医学会学術総会, 1986, 5, 広島.
- 11) 鳥居塚和生, 寺澤捷年, 西山パウラ, 川尻憲行, 足立伊佐雄, 上野雅晴, 堀越 勇: 当帰中の血小板凝集阻害成分について. 第 3 回和漢医薬学会総会, 1986, 8, 東京.
- 12) 嶋田 豊, 喜多敏明, 檜山幸孝, 寺澤捷年, 木村道郎: 電頭上筋内アミロイド沈着をみとめた糖尿病性筋萎縮症と考えられた 1 例. 第 40 回北陸医学会総会内科分科会, 1986, 9, 金沢.
- 13) 柴原直利, 布施信三, 伊藤 隆, 土佐寛順: 鯉魚赤小豆煎の経験 2 例. 第 12 回日本東洋医学会北陸支部例会, 1986, 10, 富山.
- 14) 古田一史, 嶋田 豊, 檜山幸孝, 寺澤捷年: 茯苓補心湯が著効を示した多汗症の一例. 第 12 回日本東洋医学会北陸支部例会, 1986, 10, 富山.
- 15) 松田治己, 城石平一, 三瀦忠道, 寺澤捷年: 大防風湯治験. 第 12 回日本東洋医学会北陸支部例会, 1986, 10, 富山.
- 16) 嶋田 豊, 土佐寛順, 城石平一, 三瀦忠道, 寺澤捷年: 舌と胃十二指腸内視鏡所見の関連性についての検討. 第 32 回日本消化器内視鏡学会総会, 1986, 10, 東京.
- 17) 寺澤捷年: 漢方に於ける大黄の適応. 伊藤セミナー, 1986, 10, 札幌.
- 18) 三瀦忠道: 大黄の腎不全治療の臨床効果. 伊藤セミナー, 1986, 10, 札幌.
- 19) 坂東みゆ紀, 鳥居塚和生, 土佐寛順, 寺澤捷年: グリチルレチン酸の体内動態に関する研究 III. 日本生薬学会第 33 回年会, 1986, 10, 埼玉.
- 20) 寺澤捷年: (特別講演) 漢方医学的に見た冷え症の病態とその治療. 日本生薬学会第 33 回年会, 1986, 10, 埼玉.
- 21) 横澤隆子, 大浦彦吉, 三瀦忠道, 寺澤捷年: 大黄並びに大黄含有漢方方剤による慢性腎不全の治療経験. 第 29 回日本腎臓学会総会, 1986, 11, 東京.
- 22) 檜山幸孝, 寺澤捷年: 奔豚. 自律神経発作. カテコラミン動態よりの検討. 第 759 回千葉医学会例会・第 4 回神経内科例会・第 252 回脳研談話会, 1986, 千葉.

1986年

23) 関 太輔, 柴原直利: Weber-Christian 病の 1 例. 日本皮膚科学会北陸地方会・第 320 回例会, 1986, 9, 金沢.

24) 津田昌樹, 伊藤 隆, 三瀦忠道: 小児鍼 (皮膚鍼) による温補の効果と湯液における証との関係について. 第 12 回日本東洋医学会北陸支部例会, 1986, 10, 富山.

◆ その他

1) ☆寺澤捷年: 痛みと漢方. *Medical Way*, 3: 27-34, 1986.

2) ☆寺澤捷年: 気管支喘息と漢方薬. *治療学*, 16: 643-646, 1986.

3) ☆寺澤捷年: 和漢診療の実際 2. 漢方薬と和漢薬. *看護学雑誌*, 50: 210-213, 1986.

4) ☆寺澤捷年: 和漢診療の実際 3. 気について. *看護学雑誌*, 50: 330-333, 1986.

5) ☆寺澤捷年: 和漢診療の実際 4. 気のうっ滞と逆流. *看護学雑誌*, 50: 450-453, 1986.

6) ☆寺澤捷年: 和漢診療の実際 5. 血について. *看護学雑誌*, 50: 570-573, 1986.

7) ☆寺澤捷年: 和漢診療の実際 6. 血の滞り・瘀血について. *看護学雑誌*, 50: 690-693, 1986.

8) ☆寺澤捷年: 和漢診療の実際 7. 水と水滞. *看護学雑誌*, 50: 810-813, 1986.

9) ☆寺澤捷年: 和漢診療の実際 8. 病因と表裏について. *看護学雑誌*, 50: 930-933, 1986.

10) ☆寺澤捷年: 和漢診療の実際 9. 陰陽と虚実・寒熱について. *看護学雑誌*, 50: 1050-1053, 1986.

11) ☆寺澤捷年: 和漢診療の実際 10. 太陽病の治療について. *看護学雑誌*, 50: 1170-1173, 1986.

12) ☆寺澤捷年: 和漢診療の実際 11. 少陽病の治療について. *看護学雑誌*, 50: 1290-1293, 1986.

13) ☆寺澤捷年: 和漢診療の実際 12. 陽明病の治療について. *看護学雑誌*, 50: 1410-1413, 1986.

14) ☆三瀦忠道: 大黃製剤にみられる抗尿毒症作用の臨床. *治療学*, 16: 21-25, 1986.

15) ☆三瀦忠道, 横澤隆子, 鈴木奈緒美, 寺澤捷年, 大浦彦吉: 慢性腎不全に対する中国産大黃の治療経験. *日本臨床代謝学会記録*, 1986, 2.

16) ☆鳥居塚和生, 西山パウラ, 川尻憲行, 足立伊佐雄, 上野雅晴, 堀越 勇, 寺澤捷年: 当帰中の血小板凝集阻害成分について. *和漢医薬学会誌*, 3: 430-431, 1986.

17) ☆寺澤捷年, 熊谷 朗, 有地 滋, 多留淳文, 村田高明, 栗林実世治, 戸出健彦: 不定愁訴症候群の臨床比較試験に関する研究概要. *治療学*, 16: 54-55, 1986.

18) 寺澤捷年: 和漢診療の実際 1. いまなぜ漢方か?. *看護学雑誌*, 50: 90-93, 1986.

19) 寺澤捷年: 漢方と心身相関. *SPS*, 9: 27-44, 1986.

20) 城石平一, 矢野三郎: 漢方薬. 最近の薬物療法 6. 糖尿病・腎炎. 現代医療社, 57-67, 1986.

21) 寺澤捷年: 和漢診療からみた頭痛. 頭痛の一特殊型. 奔豚気病について. とやま県医

1986 年

報, No.1930, 28-29, 1986.

- 22) 寺澤捷年, 長瀬千秋: 学会記. 第四回国際東洋医学会. 日本医事新報, 第 3221 号, 50-52, 1986.
- 23) 寺澤捷年: こんな時は漢方治療を. 読むクリニック. 朝日新聞学芸部編, 208-211, 1986.
- 24) 寺澤捷年: 評価指標としての血液学的変化. SOD - ホルモンに関する研究. 証・経穴の科学的実証及び生薬資源の確保に関する研究研究成果報告書 (昭和 61 年度), 200-204, 1986.
- 25) 堀越 勇, 鳥居塚和生: 実務シリーズ・調剤と製剤. 漢方の調剤と製剤. 薬事新報, 1397 号, 25-31, 1403 号, 53-56, 1406 号, 25-29, 1986.
- 26) 寺澤捷年: 漢方と痛み. 痛みの治療講習会, 1986, 4, 熊本.
- 27) 寺澤捷年: 頭痛の一特殊型. 奔豚気病について. 昭和 61 年度富山県麻酔科医会研究会, 1986, 5, 富山.
- 28) 土佐寛順, 嶋田 豊, 寺澤捷年, 金木美智子, 今田屋章: 消化性潰瘍に対する漢方治療の現状報告. 富山県消化性潰瘍研究会, 1986, 6, 富山.
- 29) 鳥居塚和生, 土佐寛順, 寺澤捷年: 当帰及び当帰含有製剤の血液性状に対する作用. 第 2 回富山和漢薬懇話会, 1986, 8, 富山.
- 30) 寺澤捷年: 脊髄病巣診断のコツ. 整形外科立山セミナー, 1986, 8, 富山.
- 31) 三瀆忠道, 寺澤捷年, 横澤隆子, 大浦彦古: 大黄並びに大黄含有漢方方剤による慢性腎不全患者の治療経験. 第 13 回富山県腎疾患・人工透析研究会, 1986, 11, 富山.
- 32) 寺澤捷年: (特別講演) 東洋医学における“気”の概念と呼吸器疾患. 第 27 回呼吸器心身症研究会, 1986, 12, 大阪.
- 33) 渡辺裕司, 檜山幸孝: レボドパの毒性と副作用. 薬局, 37: 35-37, 1986.